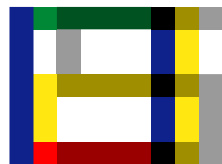

2021年度

教員免許状更新講習
受講案内



NUAS

名古屋学芸大学

NAGOYA UNIVERSITY OF ARTS AND SCIENCES

〒470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地
TEL : 0561-75-7111 (代表) FAX : 0561-73-8539
URL : <https://www.nuas.ac.jp/index.html>

目 次

1. 開講案内	
◆講習日程・受講対象者	1
◆講習タイムテーブル	1
◆受講料	1
◆修了認定試験について	1
◆受講申込の手続き	2
◆受講料のお支払い及び返金について	2
◆関係書類の送付	2
◆受講科目の変更、キャンセルについて	2
◆免許状更新講習事前アンケート、事後評価について	2
◆講習会会場、駐車場について	3
◆当日の携行品について	3
◆遅刻・退室・早退等について	3
◆台風等により講習が実施できない場合の対応について	3
◆注意事項	3
◆修了（履修）証明書	3
2. 講習シラバス	
<必修領域>	
「教育の最新情報」（共通）	4
<選択必修領域>	
「資質・能力が楽しく身につく『主体的・対話的で深い学び』（授業改善）」 （教諭、養護、栄養）	5
<選択領域>	
「幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿～健康な心と体・豊かな 感性と表現を中心に～」（教諭、養護、栄養）	6
「食物アレルギーの基礎と対応」（教諭、養護、栄養）	7
「ライフスキル（生きる力）を育む健康教育」（教諭、養護、栄養）	8

1. 開講案内

◆講習日程・受講対象者

領域	講習名		時間	定員	受講対象免許種	日程	受講料
必修	A	教育の最新事情	6	30	全教員	8月16日(月)	6,000円

領域	講習名		時間	定員	受講対象免許種 (主な校種)	日程	受講料
選択必修	B	資質・能力が楽しく身につく「主体的・対話的で深い学び」(授業改善)	6	30	教諭 養護教諭 栄養教諭 (小・中)	8月17日(火)	6,000円

領域	講習名		時間	定員	受講対象免許種 (主な校種)	日程	受講料
選択	C1	幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿～健康な心と体・豊かな感性と表現を中心に～	6	30	教諭 養護教諭 栄養教諭 (幼・小)	8月18日(水)	6,000円
	C2	食物アレルギーの基礎と対応	6	30	教諭 養護教諭 栄養教諭 (幼・小)	8月19日(木)	6,000円
	C3	ライフスキル(生きる力)を育む健康教育	6	30	教諭 養護教諭 栄養教諭 (小・中)	8月20日(金)	6,000円

- 1) 申込数が各講習5名以下の場合には非開講となることがあります。あらかじめご了承ください。開講しない場合は、申込期間終了後に決定し、ご連絡します。
- 2) ご自身が受講対象者に該当するかは、文部科学省ホームページの「修了確認期限をチェック」でご確認ください。また、免許状更新講習についても解説されていますので併せてご確認ください。

※文部科学省ホームページ。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm

◆講習タイムテーブル

9:15	9:40	11:10	11:25	12:55	13:50	15:20	15:35	17:05
受付	90分講義	休憩	90分講義	昼食	90分講義	休憩	90分講義	

※当日の日程については、講習により異なる場合があります。

◆受講料

全講習 各6,000円(1時間、1,000円を基準としています。)

◆修了認定試験について

修了認定試験は原則として、各講習の時間内(最終時限等)に行います。

◆受講申込の手続き

- ①募集期間：2021年4月1日(木)～4月23日(金)先着順
- ②申込方法：専用フォーマット(免許状更新講習受講申込書)に必要事項を記入し、本学教員免許状更新講習係宛に郵送(4月23日(金)必着)してください。必ず受講対象者であることを証明する学校長等の職印の押印を受け、顔写真(縦4cm×横3cm)を貼付し、ご本人の認印を押印してください。併せて、受講可否を通知する返信用封筒(長形3号、84円切手貼付、宛名記載)及び免許状更新講習事前アンケート(1講習につき1枚)を同封してください。
- ③受講可否の結果：申込の際、同封いただいた返信用封筒にて受講の可否を連絡します(5月21日(金)までに届かない場合や記載事項に誤りがある場合はご連絡をお願いします)。受講許可者には、受講登録確認票及び受講許可証を送付します。

◆受講料のお支払い及び返金について

受講結果のお知らせの際、同封する受講登録確認票に記載されている受講料を指定の期日 2021年6月30日(水)までにお支払いください。期日までにお支払いがない場合は、辞退されたものとして取扱いますのでご注意ください。(辞退の場合は必ず連絡を入れてください。)

申込後やむを得ず辞退される場合、受講料については以下のとおり取扱います。

キャンセル料については下表を確認ください。

申込取消しの時期	返金額
① 7月30日(金)16時まで	全額(振込手数料を差し引きます)
② ①以降～8月6日(金)12時まで	事務手数料2,000円を受講料から差し引いた金額
③ ②以降～当日	返金なし

<キャンセル料>

講習	講習開始日	受講料	受講取消し料なし	②の期日	③の期日
A	8月16日(月)	6,000円	7月30日(金)16時迄	2,000円	全額
B	8月17日(火)	6,000円		2,000円	
C1	8月18日(水)	6,000円		2,000円	
C2	8月19日(木)	6,000円		2,000円	
C3	8月20日(金)	6,000円		2,000円	

◆関係書類の送付

受講に際しての関係書類は郵送でお送りします(7月30日(金)までにお手元に届かない場合はご連絡ください)。

◆受講科目の変更、キャンセルについて

申込期間後の受講科目変更はできません。申込後の講習キャンセルは直ちにご連絡をお願いします。

受付方法	受付時間
電話又は窓口	受講当日までの9:30～16:00(但し、土日祝日及び大学休業期間(8/7(土)～8/15(日)を除く)

◆免許状更新講習事前アンケート、事後評価について

事前アンケートは講習が受講者にとって有益かつ効果的なものとなるよう、担当者が受講者の課題意識を把握することを目的に実施するものです。受講の可否や講習の評価とは一切関係はありません。

また、講習終了後の「事後評価アンケート」にもご協力ください。

◆講習会会場、駐車場について

講習の会場については、関係書類に同封します「会場案内」でご確認ください。駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。なお、本学専用バス(上社発、赤池発)もご利用いただけます。

◆当日の携行品について

- ①受講許可証、受講案内、シラバス等
- ②筆記用具、ノート
- ③各講習シラバスに記載されているもの

◆遅刻・退室・早退等について

遅刻・早退及び受講中の退室等は、原則として認められませんので、ご注意ください。1 講習 6 時間に満たない場合は認定されません。

◆台風等により講習が実施できない場合の対応について

台風等により講習が中止となった場合は、振替日は 8 月 23 日(月)です。1 回のみの実施となります。振替日に出席できない場合は、該当講習の受講料を全額返金いたします。

◆注意事項

- ①履修認定対象職種以外の方が受講されても、履修認定されませんのでご注意ください。
- ②修了確認期限を延期している場合、免許状更新講習の受講期間は、延期後の終了確認期限から起算する必要があり、受講期間外に講習を受講した場合、免許状更新のための講習として認められませんので、ご注意ください。
- ③各講習は座席指定で行います。会場入り口の案内に従ってご着席ください。
- ④携帯電話等音の出るものは、受講中は電源をお切りください。
- ⑤教室内は室温調整を行います。座席の位置により温度が異なる場合があります。温度調整の可能な服装でお越しください。
- ⑥建物内は全域禁煙です。(建物外に指定の喫煙場所がありますが離れています)
- ⑦昼食は各自でご持参ください。(学生食堂、コンビニは一部のみ営業予定)

◆修了(履修)証明書

今回の講習を修了(履修)された受講者には、「免許状更新講習修了証明書」又は「免許状更新講習履修証明書」を発行いたします。証明書の郵送は 10 月 1 日(金)を予定しています。

◆新型コロナウイルスに伴う留意事項について

新型コロナウイルスの感染状況により、三密、ソーシャルディスタンス等配慮し実施いたしますが、マスクの着用をお願い致します。(フェイスシールドが必要な場合は大学で準備致します)また、状況により講習内容、教室の変更、中止等をする場合があります。

<お申込み・お問合わせ先>

名古屋学芸大学 教務課 教員免許状更新講習係
〒470-0196 愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地
TEL 0561-75-7111(代表) 9時30分～16時
(土日祝日及び大学休業期間を除く)
大学休業期間 2021年8月7日(土)～8月15日(日)

2. 講習シラバス

役職は 2021. 4. 1 現在

<必修領域>

8月16日(月) 講習教室124教室	
講座対象者：全教員	
担当：ヒューマンケア学部 子どもケア学科 特任教授 石井 鈴一、教授 津金 美智子、 客員教授 黒田 美保、特任教授 細溝 典彦	
講座名【必修】教育の最新事情	
<p><要旨></p> <p>本講習では、教育現場の現状を確認するとともに、国及び世界の教育動向、不易の部分としての子ども観・教育観・教育的愛情や倫理観等の社会的要請の強い事柄、特別支援学校等の子どもの発達に関する課題(脳科学を含む)、子どもの変化についての理解を踏まえた適切な指導の在り方、カウンセリングマインドの必要性等について理解を深める。</p>	
各時間の講習内容	備考
<p><1時間目:石井></p> <p>「教育・子どもの現状と求められる教育者としての役割」</p> <p>学校を取り巻く状況、学校教育が抱える問題等を踏まえ、今求められる教員の資質・専門職の基盤はどうあるべきかを確認する。また、教師が力量形成(自己成長)をしていくにはどうしたらよいかについて、ライフコースと関連づけて理解を深める。</p> <p>(テスト:時間の最後に15分)</p>	
<p><2時間目:津金></p> <p>「国の教育政策と世界の教育の動向」</p> <p>学習指導要領・幼稚園教育要領改訂の理念を通して、国の教育政策やOECDをはじめとする世界の教育の動向等を理解し、今後、学校教育に一層求められる「生きる力」の具体化と教育課程への位置付けを考える。</p> <p>(テスト:時間の最後に15分)</p>	<p><持ち物></p> <p>各学校種の学習指導要領・幼稚園教育要領</p>
<p><3時間目:黒田></p> <p>「発達障害の心理学的・生理学的基盤と特別支援教育」</p> <p>子どもの発達に関する心理学や脳科学の最新知見を紹介しながら、こうした知見に基づく特別支援教育の方法について講義する。</p> <p>(テスト:時間の最後に15分)</p>	
<p><4時間目:細溝></p> <p>「児童生徒を巡る現状・課題と学校に求められる『協働』」</p> <p>生徒指導上の諸問題の現状と課題について把握するとともに、いま学校に求められる「チーム学校」と関係機関連携の重要性の理解を深める。特にいじめの問題について事例を紹介しながら考えたい。</p> <p>(テスト:時間の最後に15分程度)</p>	

< 選択必修領域 >

8月17日(火) 講習教室124教室	
講座対象者：教諭、養護教諭、栄養教諭（主な校種：小・中）	
担当：ヒューマンケア学部 子どもケア学科 特任教授 青木 一起、特任教授 西尾 一	
講座名【選択必修】資質能力が楽しく身につく「主体的・対話的で深い学び」（授業改善）	
<p>< 要旨 ></p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の目的は「学校教育における質の高い学び」を実現し「学習内容を深く理解」し「資質・能力を身につけ」生涯にわたって能動的に学び続ける児童生徒を育成することにある（「総則」等）。講習では教育課程編成の「要」とされる国語科と特別活動を取り上げ主体性・対話性や学びの深さ、「教科等横断的な学習」の充実と評価方法等についてグループ討議や演習等を通し授業改善案を提案する。</p>	
各時間の講習内容	備考
<p>< 1 時間目：青木 ></p> <p>国語科の授業で、子どもたちの資質・能力（コンピテンシー）をどのように育成し評価するのか。また「主体的・対話的で深い学び」の授業改善の視点から学習過程をどのように改善していくのかを考える。</p>	
<p>< 2 時間目：青木 ></p> <p>「教科等横断的な」視点に立った資質・能力を育むため国語科を中核としたカリキュラム・マネジメントの授業実践を参考に、小集団で事例の分析と考察を行い、それに基づき教育課程を作成し、教育のあり方について理解を深める。 (テスト：時間の最後に 30 分)</p>	<p>< 持ち物 ></p> <p>該当学年の国語科教科書</p>
<p>< 3 時間目：西尾 ></p> <p>特別活動の「三つの視点」と資質・能力を高める実践活動</p> <p>特別活動は「なすことによって学ぶ」を基本原理にしており教科等で育成した資質・能力を集団活動の場で実践を通して高める「全人的教育の要」である。新学習指導要領で示された特別活動のあり方、特に「三つの視点」から整理し理論的にも実践的にも価値ある特別活動を考える。</p>	
<p>< 4 時間目：西尾 ></p> <p>特別活動の実践充実の方向性</p> <p>これから求められる資質・能力の確かな育成のため、学校教育全体のなかで「特別活動の充実」が改めて新学習指導要領で明記された。小学校における「学級活動(1)」のあり方を学級係活動を例に具体的に検討し、日々の学級経営や各種行事、各教科学習などとの関連性を考慮した今後の方向性を探る。 (テスト：時間の最後に 30 分)</p>	

<選択領域>

8月 18日(水) 講習教室:HB301 教室、HB106NUAS ホール	
講座対象者:教諭、養護教諭、栄養教諭 (主な校種:幼・小)	
担当:ヒューマンケア学部 子どもケア学科 教授 渡辺桜、准教授 林麗子	
講座名【選択】幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿 ～健康な心と体・豊かな感性と表現を中心に～	
改訂幼稚園教育要領の変わらない基本は、環境を通して幼児の主体性を育くことであり、その大前提は、「幼児は安定した情緒の下で自己を十分に発揮する」と明記されている。「健康な心と体」は情緒の安定が基盤となり生まれ、そのためには教師と幼児が動作や感情に共鳴し合いながら関係性を構築することが重要である。そして、周囲の環境や他者と共鳴し合うためには、「豊かな表現と感性」が求められ、それは教師に必要な資質・能力でもある。本講座では、それらを理論と実践の両面から学ぶ。幼少期からの発達連続性と小学校への接続を考える上でも、子どもの健康に寄り添う養護教諭や栄養教諭にとっても必要な学びとなる。	
各時間の講習内容	備考
<1時間目:渡辺> 幼稚園の教師の役割の一つとして「共同作業者であり理解者」が挙げられる。共同作業者とは、幼児と共鳴する者とされている。保育映像視聴を通して、情緒の安定や主体的に環境と関わろうとする姿と深く関係する共鳴する身体について、その幼稚園教育の基本と実践をつなげて考えていく。	「リズムの共有」「共鳴する身体」と聞いて、思い浮かんだ自身の実践をメモしてください。
<2時間目:渡辺> 1時間目をふまえて、事前学習(1時間目の備考参照)に加えられる自身の実践があれば、追加し、受講者同士で「リズムの共有」「共鳴する身体」にかかわる実践を共有する。受講者の実践と1限で得た原理・原則をつなげていく。 (テスト:時間の最後に30分)	
<3時間目:林> 幼児と教師との関わりには、言語的/意識的/遅い明示の様式と、身体的/非意識的/速い暗黙的な様式がある。前者には、言葉による意識的なやり取りが挙げられる一方で、後者は、視線や表情、声、空間行動、姿勢などを意味する。これらの身体的な要素への気づきと理解を深めることを目的とした実技を行う。	※動きやすい服装(スカート不可)と室内用運動靴で参加 ※運動量は激しくありませんが、飲み物を持参ください。
<4時間目:林> 3時間目での各々の気づきを振り返り、教育の場(さらには日常場面)におけるコミュニケーションについて、特に身体的な側面から、理論的背景とともに考察する。参加者自身が理論と各々の実践を結びつけることを目的とし、最終的に本日の体験を振り返り、参加者間で共有する時間を設ける。 (テスト:4時間目内に30分)	※同上 ※コロナ感染症予防対策として、1~4限いずれもマスク着用、グループディスカッションや実技の際はフェイスシールド(当日配布)をご着用ください。

< 選択領域 >

8月19日(木) 講習教室: 631教室	
講座対象者: 教諭、養護教諭、栄養教諭	
担当: 管理栄養学部 管理栄養学科 准教授 山田 千佳子、講師 榎村 春江	
講座名【選択】食物アレルギーの基礎と対応	
<p>< 要旨 ></p> <p>食物アレルギーの発症およびその抑制に関する基礎知識、食品の低アレルゲン化、食品別アレルギー対応、食物アレルギー患者への栄養指導などを中心に、『食物アレルギーの栄養指導の手引き』『食物アレルギー診療ガイドライン』『学校給食における食物アレルギー対応の手引き』に触れながら解説する。また、食物アレルギー児に対応できる代替食を理解し習得する。</p>	
各時間の講習内容	備 考
<p><1 時間目: 山田></p> <p>「食物アレルギーの発症機構と抑制機構」</p> <p>食物アレルギーがどのように発症する(感作成立から症状誘発まで)のか、またそれを抑制するしくみ(アレルゲンの消化および吸収、経口免疫寛容)について詳細に解説する。</p>	
<p><2 時間目: 山田></p> <p>「食物アレルゲンの特徴と表示」</p> <p>食物アレルギーを発症しやすい食品中のアレルゲンについて、さらに食品の低アレルゲン化や寛容誘導の手法についても詳細に解説する。また、食品表示法について最新の情報を提供する。</p> <p>(テスト: 時間の最後に 30 分)</p>	
<p><3 時間目: 榎村></p> <p>「食物アレルギーの栄養食事指導の実際」</p> <p>食物アレルギー診療ガイドライン 2016 より、食物アレルギー栄養食事指導の原則を理解するとともに、実際の臨床現場で行われている指導内容について解説する。</p>	
<p><4 時間目: 榎村></p> <p>「食物アレルギーの対応給食の基礎と献立例」</p> <p>食物アレルギー児が安全に楽しく食べられる献立作成のポイントと、実際の対応事例を紹介する。卵、乳を除去した行事食を紹介し、(試食あり) 実際の給食現場が抱える問題点について議論する。</p> <p>(テスト: 時間の最後に 30 分)</p>	<p><持ち物></p> <p>エプロン、三角巾、手布巾、調理室用シューズ(スリッパ可)</p>

< 選択領域 >

8月20日(金) 講習教室: 124教室	
講座対象者: 教諭、養護教諭、栄養教諭 (主な校種: 小・中)	
担当: ヒューマンケア学部 子どもケア学科 教授 近森 けいこ	
講座名【選択】ライフスキル(生きる力)を育む健康教育	
<p>< 要旨 ></p> <p>児童生徒のセルフエスティーム(自尊感情)や目標設定スキル, 意志決定スキル, ストレスマネジメントスキル, コミュニケーションスキル等のライフスキル(生きる力)の形成を図ることによって, 児童生徒の健全な発達を促し, 危険行動(例えば, 喫煙・飲酒・薬物乱用, 性の逸脱行動, 不健康な食生活等)を防止するプログラムの理論と実際について体験的に学習します。</p>	
各時間の講習内容	備考
<p>< 1 時間目: 近森 ></p> <p>「ライフスキル教育の理論的基礎①」</p> <p>はじめに(グループ分け・自己紹介), 今日の健康課題と学校健康教育の役割, 行動変容を目指す健康教育の歴史</p>	
<p>< 2 時間目: 近森 ></p> <p>「ライフスキル教育の理論的基礎②」</p> <p>ライフスキルの定義とその内容・生きる力との関係, ライフスキル教育の進め方と主な指導法(ブレインストーミングで体験する), 参加型学習のメリット</p>	<p>・勤務校の校種の体育又は保健体育科学習指導要領解説</p>
<p>< 3 時間目: 近森 ></p> <p>「喫煙防止教育及び飲酒, 薬物乱用防止教育への発展」</p> <p>喫煙防止教育の健康教育上の意義, 喫煙に関する行動科学, 喫煙防止教育の内容構成, 喫煙防止教育プログラム NICE II</p>	<p>・のり, はさみ</p>
<p>< 4 時間目: 近森 ></p> <p>「ライフスキル教育の様々な思春期問題への適応」, 及び試験</p> <p>食生活教育, 歯と口の健康教育プログラムの紹介</p> <p>(試験: 時間の最後に 45 分)</p>	